

【数学】

結果の概要

- ・A問題、B問題とも全国平均を下回った。特に、A問題で10P以上の差があり、基礎的な事項の定着に課題が見られる。
- ・「数学の勉強は好きか」との質問に約6割の生徒が肯定的な回答をするとともに、「数学ができるようになりたい」と回答した生徒も約8割おり、学習意欲は高い。

A 問 題

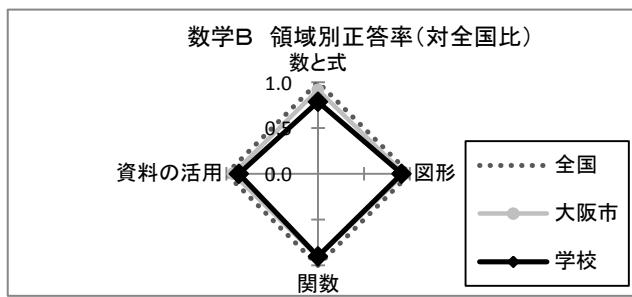
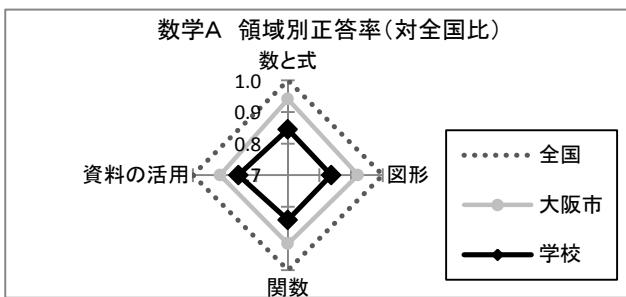
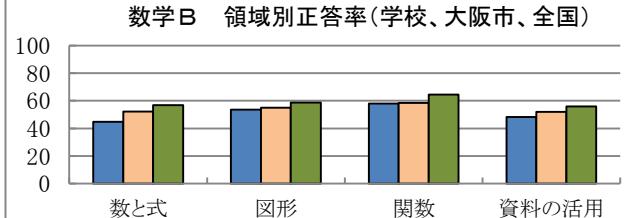
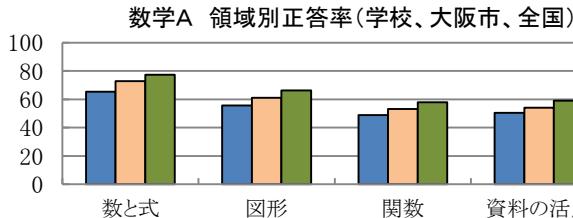
平均正答率(%)

	学校	大阪市	全国
数と式	12	65.4	72.8
図形	12	55.6	61.2
関数	8	48.8	53.2
資料の活用	4	50.6	54.0
			59.1

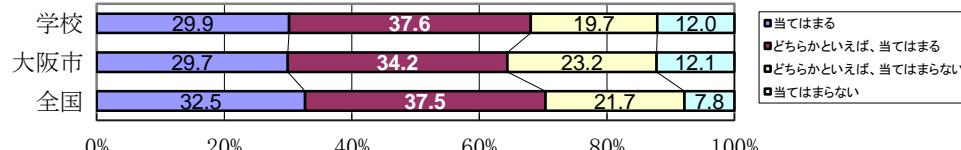
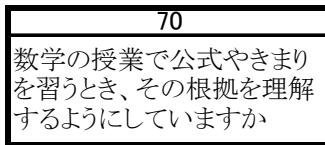
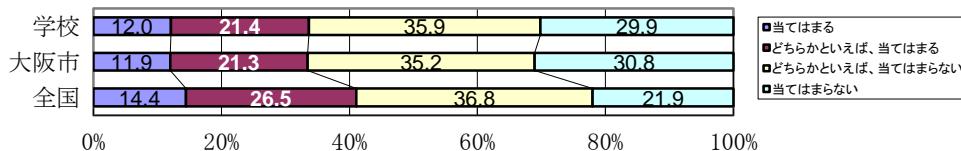
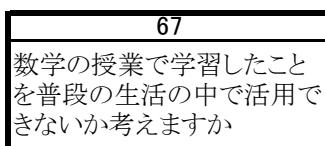
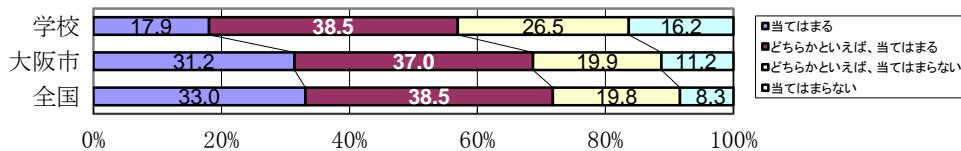
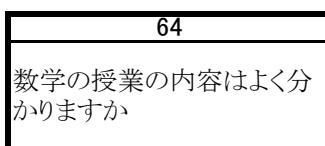
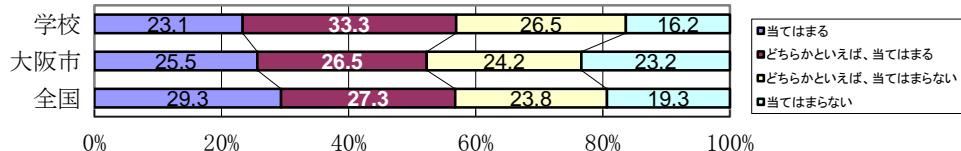
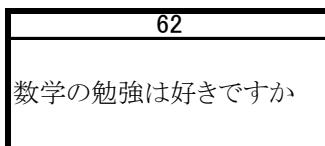
B 問 題

平均正答率(%)

	学校	大阪市	全国
数と式	3	44.7	52.1
図形	5	53.5	55.0
関数	5	58.1	58.5
資料の活用	2	48.3	51.9
			55.9



数学に関する「生徒質問紙」



成果と課題

- ・全時間習熟度別少人数授業を展開しているが、十分に成果が出ているとは言い難い。
- ・B問題において、無回答率が3割を超える問題が2問あり、論理的思考を要する発展的な問題に対応できていない。

今後の取組

- ・習熟度別少人数授業のさらなる充実を図るとともに、課題となった点を重点として、授業改善を図っていく。
- ・数学検定などを活用し、生徒の持つ数学に関する興味・関心をさらに高め、学力の向上につなげていく。